

## 1. オートペン

	時間	カット内容	せりふ	映像	音響
C1	0分00秒	白地の背景に文字		↑「Autopen」 ↓「オートペンの使い方」 ↑↓ディゾ ルブ	↑
C2	0分08秒	水色の背景			
	0分11秒	左上にインサート（女性がオートペンをセットする）	このビデオは、万年筆型インスリン注入器オートペンを使った、	↑インサート ↓（フェードイン・フェードアウト）	↑BGM(1)
	0分18秒	右下にインサート（手で針カバー、針キャップをはずす）	インスリン注射の仕方とその注意点を説明するものです。オートペンは、	↑インサート ↓（フェードイン・フェードアウト）	
	0分24秒	左上にインサート（手でオートペンのダイヤルを回す）	簡単な操作でインスリン注射が可能な万年筆型インスリン注入器です。主治医の先生の指示に従って、	↑インサート ↓（フェードイン・フェードアウト）	
	0分32秒	右下にインサート（女性が手にオートペンを持つ）	このビデオを見て操作方法を練習してみましょう。	↑インサート ↓（フェードイン・フェードアウト）	
C7	0分39秒	タイトル（青地に緑枠）		↑「1. インスリン注射に必要なものを用意する」 ↓ワイブ （横）	↑（効果音A）
C8	0分45秒	オートペンなどのイラスト（名称つき）	はじめに、インスリン注射を行うために必要な物を用意します。オートペン、インスリンカートリッジ、万年筆型注入器用使い捨て注射針、アルコール綿、ティッシュペーパーを用意してください。		↑BGM(2)
C9	1分04秒	緑地の左上と右下にインサート（2種類のオートペン）	オートペンには2種類あります。	↑↓ズーム	
	1分09秒	左上のインサートが全面に拡大（緑色のオートペンとカートリッジ）	緑色のオートペンは、3mlインスリンカートリッジ用のペンで、1目盛が2単位を示し、2単位刻みで、最大42単位までの注射が可能です。	↑「緑色のオートペン：オートペン3.0ml」 ↓	
	1分21秒	緑地の左上と右下にインサート（2種類のオートペン） 左上のインサートが全面に拡大（えんじ色のオートペンとカートリッジ）	えんじ色のオートペンは、1.5mlインスリンカートリッジ用のペンで、1目盛が1単位を示し、1単位刻みで、最大16単位までの注射が可能です。	↑↓ズーム ↑「えんじ色のオートペン：オートペン1.5ml」 ↓	
C10	1分36秒	緑色の地の中央に文字	ここまでで注意することは、まずオートペンとインスリンカートリッジの種類は、主治医の先生から指示されたものかを確認することです。また、初めてオートペンを使用する時には、外箱に表示されている内容と中味が一致しているか確認してください。	↑「オートペンとインスリンカートリッジの種類は、主治医の先生から指示されたものか確認します」 ↓ ↑「外箱に表示されている内容と中身が一致しているかを確認します」 ↓	
C11	1分53秒	白地の背景中央に注射針	注射針は、万年筆型注入器用使い捨て注射針をお使い下さい。	↑「万年筆型注入器用使い捨て注射針」 ↓	
C12	2分00秒	オートペンの部品と名称を示したイラスト	オートペンの各部の名称は、ご覧の通りになっています。		
C13	2分07秒	左にインスリンカートリッジの写真と部品の名称 右に針の写真と部品の名称	また、インスリンカートリッジと注射針の各部の名称は、このようになっています。これから、このビデオで説明していくうえで使われていきますので、よく覚えておいて下さい。		
C14	2分21秒	タイトル（青地に緑枠）		↑「2. インスリンカートリッジの取り付け、準備」 ↓ワイブ （横）	↑（効果音A）
C15	2分27秒	緑色の地にインサート（女性がオートペンを組み立てている）	それでは、これからオートペンを使ったインスリン注射の仕方を説明していきます。まず、インスリンカートリッジの取付けと準備を行います。		↑
	2分40秒	両手でオートペンを分解する（手首より先だけ）	はじめに、オートペンのキャップを本体からはずします。次に、オートペンの本体を回して、カートリッジホルダーを取りはずします。	↑「キャップを本体からはずします」 ↑ ↑「本体を回して、カートリッジホルダーを取りはずします」 ↑	↑BGM(3)

	時間	カット内容	せりふ	映像	音響
C17	2分52秒	右から出た指先でオートペン本体をつまんでいる	カートリッジホルダーを取りはずしたときに、ピストン棒が本体内に納まっていることを確認します。また、本体の三角の印と単位設定ダイヤルの四角の印が揃っていることも確認します。	↑「ピストン棒が本体内に納まっていることを確認します」 ↓ ↑「△とーが揃っていることも確認します」	
C18	3分07秒	単位設定ダイヤルの部分にズームイン、注入ボタンをスライドさせる	揃っていない場合は、注入ボタンをスライドさせて揃えてください。	↑「△とーが揃っていない場合には、注入ボタンをスライドさせます」 ↓ ↑ズーム ↓ワイプ (反転)	
C19	3分14秒	オートペン本体にピストン棒を収納する	ピストン棒の軸が出ていたら、このように本体を回してピストン棒を本体に収納します。	↑「本体を回してピストン棒を本体内に収納します」 ↓	
C20	3分26秒	オートペン本体から出ているピストンリングの黒い部分を手で押す	また、ピストンリングの黒い部分を押すと本体が回りなくなりますので、押さないようにしてください。	↑「ピストンリングの黒い部分（ロックバー）を押さないように本体を回します」 ↓	
C21	3分35秒	女性がインスリンカートリッジを装着している	続いてインスリンカートリッジを装着しますが、		
C22	3分40秒	白地の背景にインスリンカートリッジ	処方されたあなたのインスリンカートリッジが不透明なインスリンの場合には、	↑「不透明のインスリンカートリッジは、主治医の先生の指示に従って、装着前にインスリンをよく混ぜて下さい」 ↓	
C23	3分45秒	女性が右手にインスリンカートリッジを持ち上下に振る	主治医の先生の指示に従って、装着前にインスリンをよく混ぜて下さい。		
C24	3分49秒	インスリンカートリッジを手のひらの中で転がす	よく混ぜてください。		
C25	3分54秒	左手でカートリッジホルダーを持ち、右手でインスリンカートリッジを挿入	カートリッジをカートリッジホルダーに金属キャップの方から挿入し、カートリッジホルダーを本体にねじ込みます。	↑「インスリンカートリッジをカートリッジホルダーに金属キャップの方から挿入します」 ↑ ↑「カートリッジホルダーを本体にねじ込みます」 ↓	
C26	4分07秒	白地の背景にインスリンカートリッジ	不透明のインスリンを使用する場合には、		
C27	4分11秒  4分19秒	女性が右手にオートペンを持ち上下に振る	もう一度注射の前に、カートリッジ内部のインスリンが均一に濁るまで、少なくとも10回、ゆっくりと  ペンをこのように振って、インスリンをよく混ぜてください。この操作は、インスリン注射をするたびに毎回かならず行ってください。	↑「不透明のインスリンを使用する場合には、ゆっくりとペンを振って、インスリンをよく混ぜて下さい」 ↓ ↑ストップ ↓ワイプ (横)	
C28	4分29秒	タイトル（青地に緑枠）		↑「3. 針の装着」 ↓	(効果音A)
C29	4分35秒  4分40秒	右手にオートペン、左手で先端をアルコール綿で拭く  カートリッジ先端部分が拡大	次に注射針を取り付けますが、その前に、アルコール綿などで  インスリンカートリッジの先端のゴム栓を消毒します。	↑「インスリンカートリッジの先端のゴム栓をアルコール綿などで消毒します」 ↓	
C30	4分46秒	手で注射針の保護シールをはがす	注射針の保護シールをはがします。	↑「注射針の保護シールをはがします」 ↓	BGM(4)
C31	4分52秒	手で注射針をオートペンに取り付けます。取り付け終わったオートペンを持っている。	注射針をオートペンに取り付けます。注射針はまっすぐに取り付けようにしてください。注射針を取り付ける際には、ご自身や周囲の方を傷つけないように十分注意してください。  注射針は、注射のために新しいものを使用し、保護シールが破損している場合は使用しないでください。また、他の人が使用した注射針を絶対に使用しないでください。	↑「注射針をオートペンにまっすぐ取り付けます」 ↓ ↑「注射針を取り付ける際には、十分注意して下さい」 ↓ ↑ストップ ↓「注射針は、注射のために新しいものを使用し、保護シールが破損している場合は使用しないで下さい」 ↓ ↑「他の人が使用した注射針は絶対に使用しないで下さい」 ↓ ↑ワイプ (横)	
C32	5分29秒	タイトル（青地に緑枠）		↑「4. 空打ち」 ↓	(効果音A)

	時間	カット内容	せりふ	映像	音響
C33	5分35秒	緑色の地にインサート（女性がオートペンを持ち空打ちする）	インスリンカートリッジの注射針の取り付けが終了したら、空打ちです。空打ちは、注射針の中の空気を抜き正確な単位を注射するための大切な操作ですので、注射前に必ず行ってください。	↑ 「空打ちは注射針の中の空気を抜き正確な単位を注射するための大切な操作ですので、注射前に必ず行って下さい」 ↓	↑
C34	5分54秒	手で針カバー、針キャップを取る	まず、針カバーと針キャップを取ります。ここからの操作は針が出ますので、ご自身や周囲の方に十分気をつけて操作を続けてください。	↑ 「針カバー、針キャップを取ります」 ↑ 「ここからの操作は針が出ますので、十分気をつけて操作を続けて下さい」 ↓	BGM(5) ↑ ストップ
C35	6分09秒	手でオートペン（緑色）の単位設定ダイヤル回す	次に、単位設定ダイヤルを2単位に合わせます。緑色のオートペンは最初の点が2単位を示します。	↑ 「単位設定ダイヤルを2単位に合わせます」 ↑ 「緑色のオートペンは最初の「・」が2単位を示します」 ↓	↑
C36	6分20秒	手でオートペン（えんじ色）の単位設定ダイヤルを回す	えんじ色のオートペンは数字の2が2単位を示します。	↑ 「えんじ色のオートペンは「2」が2単位を示します」 ↓	↑ ワイプ（反転）
C37	6分28秒	手でオートペンの単位設定ダイヤルを2単位より大きく回す	単位設定ダイヤルを2単位よりも大きく回してしまった場合は、逆に戻すことはできませんので、無理に戻さず、次のステップへ移ってください。	↑ 「単位設定ダイヤルは逆に戻すことはできませんので、無理に逆に戻さず、次の操作へ移って下さい」 ↓	↑ ワイプ（反転）
C38	6分42秒  6分50秒	上向きのオートペンと手  オートペン上部を手ではじく	インスリンカートリッジに空気が入っている場合がありますので、針先を上にもけたまま  カートリッジホルダーの上部を3～4回軽くはじいて、空気を上に集めます。	↑ 「針先を上に向けたまま、カートリッジホルダーの上部を3～4回軽くはじいて、空気を上に集めます」 ↓	
C41	6分56秒	オートペンの注入ボタンを上スライドさせる	針を上に向け、注入ボタンをこのように上スライドさせます。	↑ 「針を上に向け、注入ボタンを上スライドさせます」 ↓	
C42	7分02秒	単位設定ダイヤルのアップ注入ボタンをスライドすると単位設定ダイヤルが回る	注入ボタンを動かすと、ダイヤルが回り本体の三角の印と単位設定ダイヤルの四角の印が揃います。  この三角の印と四角の印が揃っていることを	↑ 「注入ボタンを動かすと、ダイヤルが回り△とーが揃います」 ↑ 「△とーが揃っていることを確認してから、注入ボタンから指をはなして下さい」 ↓	
C43	7分16秒	手首から先 左手でオートペンを持ち注入ボタンから右手をはなす	確認してから、指を注入ボタンからはなすようにして下さい。	↓	
C44	7分23秒	針先部分の拡大、針先からインスリンが出てくる	針先からインスリンが出てくるまで空打ちの操作を繰り返します。	↑ 「針先からインスリンが出てくるまで空打ちの操作を繰り返します」 ↓	
C45	7分29秒  7分35秒  7分43秒  7分48秒	女性がオートペンを持って針カバー、針キャップを取る  女性が単位設定ダイヤルを回し、オートペン上部を指ではじく  女性が注入ボタンをスライドさせる  女性がオートペンをそのまま持っている	空打ちの方法をもう一度確認しましょう。まず、針カバー、針キャップを取り、  単位設定ダイヤルを2単位に合わせます。  針先を上に向けて注入ボタンをスライドさせます。  空打ちの時には、インスリンが注射針から勢いよく飛び出すことがありますので気をつけて下さい。	↑ 「針カバー、針キャップを取ります」 ↑ 「単位設定ダイヤルを2単位に合わせます」 ↑ 「針先を上に向け注入ボタンをスライドさせます」 ↑ 「空打ちの時には、インスリンが注射針から勢いよく飛び出すことがありますので、気をつけて下さい」 ↓	↑ ワイプ（横）
C46	7分47秒	タイトル（青地に緑枠）		↑ 「5. 単位の設定」 ↓	（効果音A）
C47	8分04秒	緑色の地にインサート（オートペンを持ち単位設定ダイヤルを回している）	次に単位の設定をしますが、その前にここでもう一度オートペンの目盛りを確認しておきましょう。		↑
C48	8分17秒	緑色の地の中央に目盛りの図	緑色のオートペンは1目盛りが2単位を示し、数字は4の倍数だけが表示されています。2単位刻みで、最大42単位までの注射が可能です。	↑ 「緑色のオートペン：オートペン3.0ml」 「1目盛りが2単位を示しており、最大42単位まで設定できます（数字は4の倍数のみ表記しています）」 ↓	

	時間	カット内容	せりふ	映像	音響
C49	8分30秒	えんじ色の地の中央に目盛りの図	えんじ色のオートペンは1目盛りが1単位を示し、数字は偶数のみが表示されています。1単位刻みで、最大16単位までの注射が可能です。	<p>「えんじ色のオートペン：オートペン1.5ml」</p> <p>「1目盛りが1単位を示しており、最大16単位まで設定できます（数字は偶数のみ表記しています）」</p>	BGM(6)
C50	8分42秒	左手でオートペンを持ち、右手で単位設定ダイヤルをつまんでいる	では、単位を設定します。まず、本体の三角の印と単位設定ダイヤルの四角の印が揃っていることを確認してから、		
	8分54秒	右手で単位設定ダイヤルを回す	単位設定ダイヤルを、主治医の先生から指示された単位までゆっくりと確実に回します。	<p>「単位設定ダイヤルを主治医の先生から指示された単位までゆっくりと確実に回します」</p>	
	9分03秒	単位設定ダイヤルをつまんでいる	単位設定ダイヤルは逆戻りしませので注意して下さい。	<p>「単位設定ダイヤルは逆戻りしませので、注意して下さい」</p>	
C51	9分10秒	単位設定ダイヤルを上にしてオートペンを持っている	もし、単位設定ダイヤルを指示された単位より多く回しすぎてしまった場合には、無理に逆に回したり、間違ったままの単位で注射をしたりしないで、次のような操作を行って下さい。	<p>（赤字で）「単位設定ダイヤルを多く回しすぎてしまった場合」</p>	
	9分29秒	単位設定ダイヤルを上にしてオートペンを持っている。注入ボタンをスライドさせる	そのまま注入ボタンをスライドさせて、設定した単位分だけインスリンを出してしまいます。これで本体の三角の印と単位設定ダイヤルの四角の印が揃います。	<p>「無理に逆に回したり、間違ったままの単位で注射をしないで下さい」</p> <p>「そのまま注入ボタンをスライドさせて、△とーを揃えます」</p>	
C52	9分43秒	オートペンを持ち、単位設定ダイヤルを回す	再度、主治医の先生から指示された単位にダイヤルの設定をやり直します。	<p>「再度、主治医の先生から指示された単位にダイヤルの設定をやり直します」</p>	
C53	9分50秒	タイトル（青地に緑枠）		<p>「6. 注射の仕方」</p> <p>（横）</p>	（効果音A）
C54	9分57秒	緑色の地にインサート（左手で腹部の皮膚をつまみ、オートペンを向ける）	単位の設定が終了したら、注射を行います。		
C55	10分03秒	左手で服をずらしている腹部を右手で消毒	まず、アルコール綿で注射部位を消毒します。	<p>「アルコール綿で注射部位を消毒します」</p>	
	10分08秒	左手で服をずらしている	注射部位については、主治医の先生の指示に従って下さい。	<p>「注射部位については、主治医の先生の指示に従って下さい」</p>	BGM(7)
C56	10分15秒	オートペンを持ち、単位設定ダイヤルを揃えている	設定した単位が正しいか確認して下さい。	<p>「設定した単位を確認して下さい」</p>	
C57	10分19秒	左手で腹部の皮膚をつまみ、右手でオートペンを持つ	皮膚をつまんで針を刺します。	<p>「皮膚をつまんで針を刺します」</p>	
C58	10分26秒	単位設定ダイヤルを上にしてオートペンを持つ。単位設定ダイヤルが動く	注入ボタンをスライドさせます。注入ボタンを動かすと、ダイヤルが回り本体の三角の印と単位設定ダイヤルの四角の印が揃います。	<p>「注入ボタンをスライドさせると、ダイヤルが回り△とーが揃います」</p>	
	10分38秒	単位設定ダイヤルを上にしてオートペンを持つ	この三角の印と四角の印が揃っていることを確認したら、そのまま約5秒間待ってから針を皮膚から抜きます。	<p>「△とーが揃っていることを確認し、そのまま約5秒間待ってから針を皮膚から抜きます」</p>	ストップ
C59	10分48秒	人の腹部、左手で上着を上げ、右手で消毒している様子	針を抜いた後の注射部位は、もまずにアルコール綿などで軽く押さえて下さい。	<p>「注射部位は、もまずにアルコール綿などで軽く押さえて下さい」</p>	ストップ
C60	10分58秒	手で注射針に針カバーをかぶせる	注射針に針カバーを被せます。この時、針カバーは針に平行に被せるようにして下さい。	<p>「注射針に平行に針カバーをかぶせます」</p>	
	11分08秒		平行して被せないと針が針カバーを突き破ることがあり、思わぬ怪我の原因となりますので注意して行って下さい。	<p>「平行してかぶせないと針が針カバーを突き破ることがあるので注意して下さい」</p>	ストップ

	時間	カット内容	せりふ	映像	音響
(つづき)	11分18秒	手で針カバーをねじって取りはずす	針カバーを取り付けた後に、針をねじって取りはずします。	「針をねじって取りはずします」	
	11分29秒	針カバーを取りはずした注射針	注射後は必ず針を本体から取りはずして下さい。	「注射後は必ず針を本体から取りはずして下さい」	
	11分34秒		使い終わった針の処置については、主治医の先生の指示に従って廃棄して下さい。	「使い終わった針の処置は、主治医の先生の指示に従って廃棄して下さい」	
C61	11分42秒	緑色の地のインサート（左手で上唇をずらす）	それでは、注射の方法についてもう一度確認しましょう。		
	11分47秒	緑色の地のインサート（左手で上唇をずらしつつ、右手で腹部を消毒する）	まず、注射部位をアルコール綿で消毒し、	「注射部位をアルコール綿で消毒します」	
	11分53秒	緑色の地のインサート（左手で皮膚をつかみ、右手でオートペンを持つ）	皮膚をつまんで針を刺します。	「皮膚をつまんで針を刺します」	
C62	12分00秒	緑色の地のインサート（注入ボタンをスライドさせ、本体の三角の印と、単位設定ダイヤルの四角の印が揃ったことを確認して約5秒間待ってから、	注入ボタンをスライドさせ、本体の三角の印と、単位設定ダイヤルの四角の印が揃ったことを確認して約5秒間待ってから、	「注入ボタンをスライドさせ、△とーが揃ったことを確認して約5秒間待ちます」	
	12分12秒		注入ボタンから指を離し、		
C63	12分13秒	緑色の地のインサート（左手で上唇をずらしながら、右手で腹部をアルコール綿で押さえる）	針を皮膚から抜きます。針を抜いた後の注射部位をアルコール綿で軽く押さえます。	「注射部位をアルコール綿で軽く押さえます」	
C64	12分22秒	白地の背景にオートペンとカートリッジ	注射部位などを含めた自己注射の方法については、主治医の先生に指示された方法で行って下さい。	「自己注射の方法は主治医の先生に指示された方法で行って下さい」	
C65	12分32秒	タイトル（青地に緑枠）		「7. インスリンカートリッジの交換」	（効果音A）
C66	12分38秒	緑色の地のインサート（オートペンを分解し、カートリッジを取り出す）	インスリンカートリッジのインスリンが無くなった場合には、インスリンカートリッジの交換が必要です。ここでは、インスリンカートリッジの交換の方法を説明しましょう。		BGM(8)
C67	12分53秒	オートペンを持ち、右手の方をねじる	まず、針がついている場合には、		
	12分57秒	オートペンを持ちカートリッジホルダーから本体をはずし、空のインスリンカートリッジを取り出す	針をはずしてからカートリッジホルダーを本体からはずし、使用済みのインスリンカートリッジを取り出します。	「カートリッジホルダーを本体からはずし、使用済みのインスリンカートリッジを取り出します」	
C68	13分06秒	右手でオートペン本体を持つ	本体の三角の印と、単位設定ダイヤルの四角の印が揃っていることを確認します。	「△とーが揃っていることを確認します」	
C69	13分16秒	単位設定ダイヤル部分が拡大、注入ボタンをスライドさせると△とーが揃う	揃っていない場合には、注入ボタンをスライドさせて揃えて下さい。	「△とーが揃っていない場合には、注入ボタンをスライドさせます」	
C70	13分22秒	オートペンをねじると、ピストン棒が中に入っていく	使用済みのインスリンカートリッジを取り出したら、このように本体を回し、ピストン棒を本体に収納します。	「本体を回し、ピストン棒を本体に収納します」	
C71	13分32秒	ピストン棒が入った状態			
C72	13分35秒	左手にカートリッジホルダーを持ち、右手でインスリンカートリッジを挿入する	以下の手順は装着の時と同じです。カートリッジホルダーに	「インスリンカートリッジをカートリッジホルダーに金属キャップの方から挿入します」	
	13分42秒	カートリッジホルダーに右手で本体をねじ込む	インスリンカートリッジを金属キャップの方から挿入し、カートリッジホルダーを本体にねじ込みます。	「カートリッジホルダーを本体にねじ込みます」	
C73	13分51秒	タイトル（青地に緑枠）		「8. 注射終了時に、△とーが揃っていない時には…」	（効果音A）

	時間	カット内容	せりふ	映像	音響
C74	13分57秒	緑色の地のインサート（単位設定ダイヤルを上にしてオートペンを持つ）	オートペンを使ったインスリン注射の操作上で、特に注意が必要な点を説明します。それは、注射終了時に、本体の三角の印と、単位設定ダイヤルの四角の印が揃っていない場合についての対処法です。		BGM(9)
C75	14分17秒	緑色の地の中央に赤枠（中に白字）	注射終了時に本体の三角の印と単位設定ダイヤルの四角の印が揃っていない場合には、あらかじめ設定した単位が注射されていないことになります。	「注射終了時に△とーが揃っていない場合」	
	14分31秒	下に矢印が延びてテロップが追加される	この場合、三角の印が示している単位が注射されていない不足分となります。原因は2つ考えられます。それぞれの手順で残りの単位を注射して下さい。	「↓」 「△が示している単位が注射されていない不足分」	
C76	14分43秒	単位設定ダイヤルを上にしてオートペンを持つ。注入ボタンをばっとはなし、△とーが揃わないで止まる。	まず、注入ボタンをはなすのが早すぎた場合です。注射するときには注入ボタンをスライドさせたままにしますが、はなすのが早すぎると本体の三角の印と	「注入ボタンをはなすのが早すぎた場合」（赤字）	
	14分56秒	単位設定ダイヤルを上にしてオートペンを持つ。注入ボタンをスライドさせる。  単位設定ダイヤルを上にしてオートペンを持つ。△とーが揃う。	単位設定ダイヤルの四角の印が揃う前に単位設定ダイヤルが止まってしまうことがあります。この時は、単位設定ダイヤルが示している数字が不足分の単位ですので、再度注入ボタンをスライドさせて三角の印と四角の印が揃うまで待ち、それから約5秒間そのままの状態にします。これで不足分が注射されます。	「注入ボタンを早く離すと、△とーが揃う前に単位設定ダイヤルが止まってしまうことがあります」 ストップ 「再度、注入ボタンをスライドさせ、△とーが揃ったことを確認して約5秒間待ちます」	
C77	15分24秒	単位設定ダイヤルを上にしてオートペンを持つ。	もう1つの原因は、インスリンカートリッジが空の場合です。	「インスリンカートリッジが空の場合」（赤字）	ワイブ（ねじれ）
	15分31秒	単位設定ダイヤルを上にしてオートペンを持つ。注入ボタンをスライドさせるが、△とーが揃わずにダイヤルが止まる。	設定された単位分のインスリンがインスリンカートリッジに残っていない場合には、本体の三角の印と単位設定ダイヤルの四角の印が揃わずに単位設定ダイヤルが止まります。この時単位設定ダイヤルが示している数字が不足分の単位です。	「設定された単位分のインスリンがカートリッジに残っていない場合には、△とーが揃わずにダイヤルが止まります」 ストップ	
	15分49秒	単位設定ダイヤルを上にしてオートペンを持つ	この場合では、一度針を皮膚から抜き、再度不足分の単位を注射します。	「一度針を皮膚から抜き、再度不足分の単位を注射します」	
C78	15分56秒	白地の背景にオートペンとインスリンカートリッジ	まず、単位設定ダイヤルが示している不足分の単位を覚えておいて、インスリンカートリッジを交換して下さい。	「△が示している不足分の単位を覚えておき、インスリンカートリッジを交換します」	
	16分05秒		空打ちをしてから、不足分の単位を設定して注射して下さい。	「空打ちをしてから、不足分の単位を設定し、注射をして下さい」	
C79	16分11秒	タイトル（黄地に緑枠）		「9. 正確で安全な注射をするために」	ワイブ（横）（効果音A）
C80	16分17秒	緑色の地にインサート（女性がオートペンをセットしている）	オートペンを使ったインスリン注射の方法を説明してきましたが、最後に正確で安全な注射をするための注意点を説明します。		
C81	16分28秒	白地の背景に注射針を出したままのオートペンと針カバー	まず、注射針についてですが、注射が終わったら、速やかに注射針をはずして下さい。	「注射が終わったら、すみやかに注射針をはずして下さい」	
	16分35秒		針をつけたままにすると、インスリンが漏れ出すおそれがありますので気をつけて下さい。	「針をつけたままにしておくと、インスリンが漏れ出すことがありますので気をつけて下さい」	

